

# 公民館報 まつもと

発行

2023

1/30



- 問い合わせ 中央公民館  
TEL 32-1132 FAX 37-1153
- 編集 公民館報編集委員会
- 印刷 株式会社プラルト

松本城イルミネーション

# 8ミリフィルムが活躍した松本の歴史

動画はこちら

かつて松本の地で生きてきた人々の記憶をつないでいくことは、今を生きる私たちの重要な務めです。思い出が詰まった8ミリフィルムを集め、地域映画を制作する取組みが始まっています。

## 8ミリフィルムは

皆さんは、ビデオテープやDVDが普及する以前に、8ミリフィルムと呼ばれる映像記録媒体があったことを覚えていますか。8ミリフィルムの多くが、「ホームムービー」と呼ばれる家庭の記録であり、子どもの頃の思い出が8ミリフィルムに収められている方も多いかもしれません。

## 地域映画として残す

8ミリフィルムを活用し、「地域映画」の制作に取組む団体が「まつもとフィルムコンビズ」です。大学生から80代まで幅広い世代の市民が活動に参加しており、制作活動、地域映画の上映や座談会を通して交流しています。

8ミリフィルムは、1960年代半ばから1980年代にかけて一般に普及しました。しかし、製造販売は2012年に一旦は終了し、現在は手に入れることだけでなく、現

今年度は1時間ほどの地域映画を完成させるため、松本で撮影された8ミリフィルムを広く市民に募集しました。現在、345本のフィルムが集まっています。合わせて、撮影者へのインタビューや映画のBGMに使用する音源の録音も行い、2月の上映会に向け編集作業を進めています。

## 時代をつなぐ役割

監督の三好大輔さんは「過

**地域映画**

「まつもと日和」  
完成上映会

開始時間

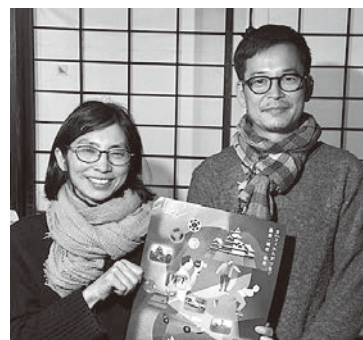
2月25日(土)  
13:30・17:00

2月26日(日)  
10:00・14:00・19:00

場所

Mウイング6階

※入場無料/各回先着順



監督と事務局を担う三好さん夫婦

去と現在、未来をつなぐことができる点が地域映画の魅力。映像を見ることが自身の記憶を呼び起こす機会になる」と話します。一本の8ミリフィルムに収められた映像は、わずか3分ほどの短い映像ですが、そこには古き良き松本の姿と、そこに住む人々の息遣いが映像として記録されています。その映像を見て学び、見た人同士で語り合うなかで、未来へと記憶をつなげていくことができます。

スマホを使えば簡単に撮影ができる時代ではありますが、映像が持つ力を今一度、見つめ直したいところです。

## わがまち自慢(中央地区)

## ペタンクの県代表に

令和5年10月に開催される「ねんりんピック愛媛」ペタンク競技の長野県代表になりました。

10月22日に伊那市で行われた「2022信州ねんりんピックスポーツ交流大会」ペタンクの部に中央地区から出場したのは3チーム、その中のCチーム(高野和子・藤森典人・山本文彦)3名が見事優勝し、全国大会への切符を手に入れました。

実績も着実に重ねています。優勝チームの高野和子さんは「全国大会で採用されるルールを学んでいる。メンバー11人ほぼ全員が参加し、毎回試合形式での練習もしている。目標はまずは1勝したい」と意気込みを語りました。「ねんりんピック愛媛2023」は令和5年10月に行われます。60歳以上の幅広い方が参加できる10種目の競技が繰り広げられます。

中央地区のペタンクチームは令和元年と令和4年に行われた「松本市高齢者ペタンク大会」でも優勝しており、



月に2回の全員練習(蚕糸記念公園グラウンド)

## ペタンク競技のルール

(室内版・今回の競技ルールとは異なります)

【提供:(公財)日本レクリエーション協会】





▲百瀬三七翁

江戸時代は奈良井川の河川敷の簡易堰から取水していましたが、用水路は大雨の度に流され、農業用水の安定供給が課題でした。その解決策として、幾多の困難を乗り越えて恒久堰(四ヶ堰)を築いたのが百瀬三七です。

芳川地区は、奈良井川と田川に挟まれているにもかかわらず地下水に乏しく、集落が形成された時代から地域に用水路を巡らせてきました。



▲芳川キャラクター シカセギン



▲円筒分水以前の分水場

四ヶ堰Ⅱよつつの川は、明治22年に誕生した芳川村という名前のもとにもなっています。

四ヶ堰用水は、その後も整備・改良が行われ、円筒分水はそのシンボルです。



▲頌徳碑【しょうとくひ】

四ヶ堰Ⅱよつつの川は、明治22年に誕生した芳川村という名前のもとにもなっています。しかし、芳川では、四ヶ堰の歴史を後世に伝える営みを続けてきました。

市との合併以降、急激な都市化と人口増に伴う開発が続き、大きく変容しました。

以来、芳川は発展を続け、特に、松本市との合併以降、急激な都市化と人口増に伴う開発が続き、大きく変容しました。



▲現在の深堀

具体的に関連文化財群は、分水施設として、円筒分水、村井堰、小屋堰、二区堰、野溝堰、平田堰と、碑石として、水神碑、百瀬三七翁頌徳碑【しょうとくひ】で構成されています。

文化財群を保存活用していることが評価され、今回の認定になりました。



▲水神祭



▲二区堰の川ざらい

# 四ヶ堰と芳川地区の生活を支えた用水路が まつもと文化遺産に認定されました。



令和5年1月1日 現在
総世帯数 8,118世帯
総人口 17,365人
男 8,641人
女 8,724人

**芳川地区 地域づくりセンター**  
☎58-2034

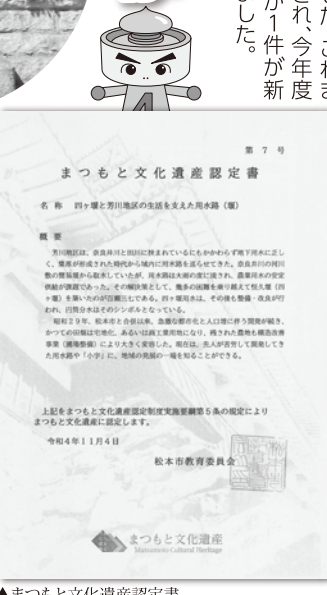
**芳川出張所**  
☎58-2034

**芳川公民館**  
☎58-2034

**芳川福祉ひろば**  
☎57-0168

※芳川地区地域づくりセンター、芳川出張所、芳川公民館へご連絡は同じ番号となります。

まつもと文化遺産って何？  
松本市では、地域の歴史や暮らしに関わり、地域の皆さんが保存・活用している歴史・文化遺産をまつもと文化遺産として認定しています。認定は平成30年度から始まりました。これまでに5件が認定され、今年度は芳川地区ほか1件が新たに認定されました。



▲まつもと文化遺産認定書

# 楽笑レクゲームの集い

11月20日、楽笑レクゲームの集いが開催されました。  
 コロナ禍もあり、参加者を50人に絞つての開催となりましたが、ポッチャ・クツプ・モルック・ペタボードの4種目に挑みました。上手くいったり、いかなかったり、和気あいあい、笑顔で楽しめました。  
 帰りには、寒さを吹き飛ばす「焼き芋」のプレゼントもあり、思わずホクホク。



# 野溝出前講座

12月15日、野溝町会・芳川公民館・丸の内病院のコラボ企画の出前講座が開催されました。

寒波の中25人が参加。柏澤公民館長の18歳と81歳の違いをキーワードにした漫談や丸の内病院の理学療法士さんによる自宅で出来る筋トレや冬場の健康管理の講座と盛りだくさんの内容でした。  
 寒い季節は、お風呂に入る際の温度差によるヒートショックに注意が必要です。  
 ここで川柳を

冬の日の一番風呂は命がけ

# バドミントン交流会

12月18日、芳川体育館で今年2回目のバドミントン交流会が開催されました。  
 親子3組、中学生、高校生はじめ22人が参加。4面のコートにシャトルが飛び交いました。  
 初心者子どもたちも交流会が終わる頃には、ラリーが続くようになり、思わず笑顔がこぼれました。



# Vol.5 村井駅舎 建築中

東側は基礎部分にコンクリートが打たれ、西側の階段部分の骨格が立ち上がりました。



2022年12月20日撮影

# しめ飾りづくり

12月9日、芳川小学校の5年生を対象に正月のしめ飾りづくり講習会を開きました。  
 クラスごとに、地域の皆さんの指導でしゃもじ(輪じめ)を作りました。バランスを考えながらわらを通し、全員2つを完成させました。  
 縄をなう実演に「すげえ、どうしたらそんなに上手にできるの?」の声。  
 「50年もやっているからね。」さっそくチャレンジする子も。



# 館報編集委員 募集中!

芳川公民館では、隔月で発行されるこの「よしかわ公民館報」の編集員を、随時募集しております。

## 仕事内容

2カ月に1回、年に6回発行される、地区版公民館報の編集・取材・製作等を行っていただきます。

月に1度、火曜日に編集会議に参加いただけます。

また、各町会内や学校行事等のイベント取材もお願いする場合があります。

## 応募条件

特にごさいませんが、芳川が好きの方、取材・記事書きが好きの方、カメラが好きの方、ぜひお声がけください。

## 報酬

基本ボランティアですが、少しあります。



## 連絡先

芳川公民館  
 ☎58-2034

# 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い

第38回公民館研究集会 令和4年度地域づくり市民活動研究集会

●テーマ **未来を切り拓く学びと自治** ～ポストコロナにおける地域再生～

●期日 **2月19日(日)** ●会場 **松本市中央公民館(Mウイング)**

※第8分科会のみ、坊主山クラインガルテンクラブハウス

日程	9:00 受付	9:30～9:55 開会式	10:00～12:00 全体会(基調講演・対談)	12:00～13:00 休憩・昼食	13:00～16:30 分科会
----	------------	------------------	-----------------------------	----------------------	--------------------

## 内容

■基調講演・対談 **「未来に託せる地域を目指す人々の学びと取り組み」**

講師 東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山 竜平 氏

聞き手 松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 准教授 向井 健 氏

ホームページ  
二次元コード



分科会	テーマ
第1分科会	子どもたちの生きる力を高めるために ～地域を舞台とした体験・学びから見えるもの～
第2分科会	松本の伝統行事を次世代につなげよう! ～ぼんぼんと青山様・三九郎～
第3分科会	「地域行事」って必要なの? ～現代における地域行事は今～
第4分科会	顔が見える関係づくり ～気軽に使える町内公民館～
第5分科会	誰もが安心して暮らせる地域を目指して!! ～地域包括ケア・生活支援体制整備～
第6分科会	地域防災を進めるために必要なこと ～地域づくりの視点から考える～
第7分科会	ワカモノ×地域=賑わす ～若い世代の地域参加を考えよう～
第8分科会	中山間地域の持続可能な地域づくり ～奈川・四賀の事例から考える～

【主催】松本市・松本市教育委員会・松本市地域づくり研究連絡会

【主管】未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い実行委員会

参加申込方法 2月10日(金)までに、必要事項(氏名/住所/電話番号/参加を希望する分科会/手話・要約筆記・託児保育の必要の有無)を専用フォームもしくは最寄りの地区公民館・集會事務局(中央公民館)へ電子メール、電話、FAX、窓口でお申込みください。

事務局 松本市教育委員会 生涯学習課・中央公民館(Mウイング)  
〒390-0811 松本市中央1丁目18-1 TEL 0263-32-1132/FAX 0263-37-1157  
E-mail:gakushu@city.matsumoto.lg.jp

申込フォーム  
二次元コード



## おこひる

3年ぶりの長距離ドライブをしてきた。コロナの影響で遠ざかっていた日常がようやく元に戻り始めているような雰囲気になりつつあるように感じている▼今回は40年来の友人達と群馬で再会し、コロナでのびのびになっていた宿泊場所の設立記念の品物も渡してきた。コロナ禍前までは、年1回は顔を合わせてそれぞれが無事を確認していたが、この3年間はお互いに自粛していた。片道3時間で200キロの移動がまだ無事にできるかなとふと思っている自分がいた。そろそろ微妙に体力も落ちてきているのが自分でも認識できる年代にかかってきていて、内心心配ではあったがなんとか無事に往復して来れた▼久しぶりに会った友人達の容姿は、それなりに歳を重ねていた。次回はみんなの出会いの原点になる場所で再会する計画をしてきた▼いつものようにおおよその時期は、秋ごろが良いと決めたが、日は幹事が検討してから連絡するということだ。久しぶりの遠出と再会をなんとか楽しんでくる事ができた。

歴史探訪 探ろう松本 32 島立地区

奈良井川の西側に位置し、東部は商業地域、南部・西部には田園地帯が広がり、キュウリ、キュウリ、トマトの生産が有名です。

西の玄関口

人口6686人(世帯数2911)、長野自動車道松本IC、長野県合同庁舎、松本市歴史の里、長野県松本筑摩高等学校、松本市立高綱中学校・島立小学校があります。コロナ禍でさまざまな活動が停滞していましたが、子どもを取り巻く活動は徐々に戻りつつあります。



森・杜探検隊ヤマメのつかみ取り

子ども食堂から発展した「ゆいまる子どもひろば」は松本大学とボランティア団

それは昔から

地区名は、1347年(貞和3年)4月に足利尊氏から小笠原定宗にあてた下文に「島立」と書かれています。

西に向かう野麦街道(飛驒道)、北に向かう千国街道・仁科街道が区内を通過しており、越中富山や糸魚川などとの交易の重要拠点でした。

古くは縄文の遺跡があり、高速度道路工事に伴う発掘調査では、奈良・平安時代の複合住居跡が確認されました。左波理椀(銅合金の椀)や釉薬のかかった焼物が出土し、身分の高い人が住んでいたと考えられます。



発掘調査見学会の様子は公民館島立版 令和4年9月号、11月号で



次世代に伝える

沙田神社は西と卯の年に御柱祭が行われます(諏訪大社の翌年)。正行寺には源氏の武将佐々木高綱(了智上人)の墓があり、その子孫といわれる乃木希典大将が詣りました。近くに乃木殿(石塔)が建てられ、乃木橋などにも名が残っています。

津島牛頭天王社の、子どもの裸祭りは県無形文化財に指定されています。ほんぼんと青山様、荒井観音堂の八日念仏や団子投げ、道祖神の彩色など民俗行事も残されています。

子どもたちの活動は、今後実施できる方法を探りながら、新しいものも取り入れていきたいと考えています。

松本平の野鳥たち オオマシコ (2023.1 大峰高原 写真提供:信州野鳥の会) 全長17cm アトリ・ヒワの仲間で、雪の似合う赤い鳥(オス)として人気が高い。日本では冬鳥として本州中部以北に渡来するが、数はそれほど多くなく、アルプス公園でも稀に見かける程度。萩の実などを好んで食べる。[ピーツ ピーツ] [ピイツ]などの短い声を出す。

表紙について 松本ウインターイルミネーション 12月1日(木)～令和5年2月28日(火) 午後6時から9時 毎日開催。昨年引き続き開催する冬のイベント。松本城のレーザーマッピングを中心に、各商店街や大型商業施設が連携し、松本のまちを明るく彩るイルミネーション。(撮影 2022.12.9 松本城)